

『第2回 SUPER-DXコンテスト』 選考状況

- 応募された37社から、書類選考にて**ビジネス部門8事業、アイデア部門3事業**を選出
- 1月26日に最終審査委員会を実施し、**ビジネス部門3事業、アイデア部門1事業**を選定予定
- 選定された事業は令和6年2月に開催する「第58回スーパーマーケット・トレードショー2024」にて、表彰式及び展示会ブースによる展示を実施予定。また、リテールテックJAPANでの登壇も予定。

実施済み

1月26日実施

応募締め切り

(令和5年12月15日)

- 流通業（卸業・小売業）、また、それらを取り巻くサプライチェーン全体が抱える業務課題を解決する事業・サービス、アイデアを募集
- 計37事業（ビジネス部門30事業、アイデア部門7事業）から応募を受付

一次審査

(書類選考)

- 事務局による書類選考によって、11事業（ビジネス部門8事業、アイデア部門3事業）を選出
- 応募事業者の結果を通知（令和6年1月上旬）
- 書類選考通過者は別途事例集でとりまとめ予定

最終審査

(令和6年1月26日)

- 最終審査委員会にてプレゼンテーションを実施
- 参加委員・オブザーバー（一般傍聴者）の投票によってビジネス部門3事業、アイデア部門1事業を選定予定

最終審査のプレゼン企業（11企業）

【ビジネス部門】

No	企業名	応募内容
1	Cloudpick Japan株式会社	ウォークスルー型無人デジタル店舗
2	株式会社DATAFLUCT	自動需要予測プラットフォーム「Perswell」
3	株式会社ブライセン	B-Luck AI需要予測型自動発注ソリューション
4	株式会社アドインテ	リテールメディア構築をワンストップパッケージで提供
5	株式会社traevo	サプライチェーン全体DXに貢献する車両動態管理プラットフォーム「traevo」
6	株式会社ウーオ	水産専用の業務支援サービス「atohama」
7	CO-NECT株式会社	受発注業務をデジタル化するSaaS「CO-NECT」
8	株式会社KURANDO	倉庫内の業務データの管理をデジタル化する「Logimeter」

【アイデア部門】

No	企業名	応募内容
1	株式会社MUSE	店舗内の様々なケースで活用可能な、マルチユース型のストアロボット「Armo」
2	株式会社セブン＆アイ・ホールディングス	店舗業務をデジタル化する万能アプリケーション
3	HMS株式会社	機械学習が不要な、商品棚の欠品を自動検出するAIスマートカメラ